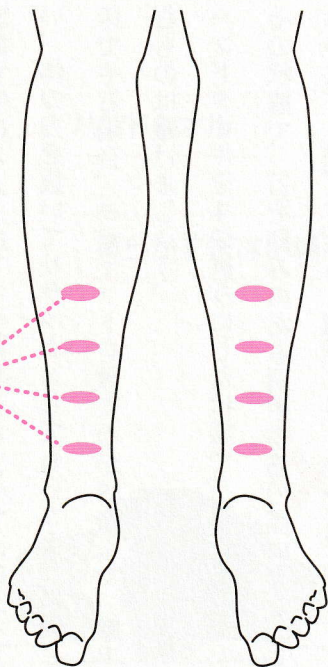


2. 肩甲挙筋…95ページの図に示した肩甲骨上角部を親指で強めに押して、圧痛があるかを確認します。

3. ふくらはぎ…左右のふくらはぎを手のひらの付け根部分で横に切るようにして、痛みがあるかを確認します（97ページの図を参照）。

※第3章の「三大指標検査」の項目で説明したように、DRTの治療家が行う場合は、これに加えて第二頸椎もチェックします。家庭で行う場合は第二頸椎の検査は難しいので、事前検査は肩甲挙筋と僧帽筋、ふくらはぎの3つにします。

ふくらはぎのチェックポイントは、図の通り、下から上に4カ所ほどを手のひらの付け根の部分で押して確認します



細かい動きがよく分かる

5分間背骨ゆらしのポイントを動画で公開！

調整前後の検査のやり方、背骨のゆらし方のコツなどのポイントのすべてを動画で学べます！スマートフォンやパソコンで、いつでも確認できます。これであなかも「家族のお抱え整体師」として活躍できるでしょう

詳しくはこちら

<http://drt-japan.com/book>

